



2026 年度高知県立大学 がん高度実践看護師コース

がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師の養成

Acute Stage にある がんサバイバーへの支援

募集要項

- 概要** 本コースは、文部科学省令和5年度(がんプロフェッショナル)養成プランに採択された、中国・四国の大学による「地域をつなぐ未来世代のがん専門医療人養成」の事業のなかで高知県立大学が企画するリカレント教育コースです。第4期において本学は、がんサバイバーシップを支える専門性の高い看護師の養成を目的としています。がんとともに生きる人々とその家族が直面する身体的・心理的・社会的課題を理解し、多職種と連携しながら支援を行うことのできる看護実践力の修得を目指して取り組みます。
2026年度は、上記の目的のもと、「Acute Stage(診断から初回治療が行われる時期)にあるがんサバイバーへの支援」をテーマとします。がん診断直後から治療開始期にあるがんサバイバーは、治療選択における意思決定、治療に伴う身体症状への対処、心理的危機、生活の再編成など多面的な課題に直面します。また近年のがん医療は、手術療法、薬物療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療の進展や外来治療の普及、がんゲノム医療の発展などにより大きく変化しています。本コースでは、治療期にあるがんサバイバーの身体的・心理的・社会的課題を包括的に理解し、症状マネジメント、治療選択における意思決定支援、治療後の生活を見据えた療養支援、さらには外来・地域へとつながる療養支援について学びます。そして、がんサバイバーと家族のニーズや潜在化した課題、アンメットニーズに対応できる専門性の高い看護実践力の修得を目指します。
- 履修期間** 2026年9月19日(土)・20日(日)、10月3日(土)・4日(日)、11月14日(土)・15日(日)、12月5日(土)・6日(日)
- 開催場所** 高知県立大学池キャンパスよりWeb配信(Zoom)
- 対象** 専門看護師、大学院修士課程修了者、がん看護に関連する認定看護師
- 履修科目** 4単位60時間(授業科目参照)
- 受講費用** 無料(但し、受講に要する電子機器、通信費等は自己負担とします)

授業科目

科目名	授業の概要
<p>1. がんサバイバー 診断治療学</p> <p>1 単位 15 時間</p>	<p>Acute Stage(診断から初回治療が行われる時期)にあるがんサバイバーへの看護実践の基盤として、がんの診断から治療選択および治療開始に至る過程を理解する。また、手術療法、薬物療法、放射線療法による集学的治療の特徴と、治療に伴う身体的変化や有害事象、支持療法について学修する。さらに、外来治療の進展やがんゲノム医療など近年のがん医療の動向を踏まえ、治療期にあるがんサバイバーの身体状況を理解し、高度実践看護師および認定看護師としての看護実践へ発展させる基盤的知識を修得する。</p> <p>〈達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Acute Stage にあるがんサバイバーの診断から治療選択および初回治療に至る医療の流れを説明できる。 ② 手術療法、薬物療法、放射線療法による集学的治療の特徴を理解し、治療選択との関連を説明できる。 ③ 治療に伴う身体的変化および主な有害事象と支持療法について理解できる。 ④ 外来治療の進展やがんゲノム医療など近年のがん医療の動向を理解できる。 ⑤ Acute Stage にあるがんサバイバーの身体状況を踏まえ、予測的な看護実践の視点を説明できる。
<p>2. がんサバイバー 看護基盤論</p> <p>1 単位 15 時間</p>	<p>Acute Stage(診断から初回治療が行われる時期)にあるがんサバイバーおよび家族は、診断の衝撃、治療選択に伴う意思決定、病いの不確かさ、生活の再編成など多面的な心理社会的課題に直面する。本科目では、がんサバイバーの体験を理解するための主要な理論および概念を再整理し、危機、不確かさ、意味づけ、意思決定などの視点から看護の役割を考察する。さらに、患者の価値観を尊重した支援、セルフマネジメント支援、家族支援などについて理解し、高度実践看護師および認定看護師としての看護実践を再構築するための基盤となる思考を養う。</p> <p>〈達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Acute Stage にあるがんサバイバーとその家族への看護の基盤となる概念や理論、ならびにその活用方法について理解することができる。 ② Acute Stage にあるがんサバイバーとその家族が直面する心理的・社会的課題や治療選択に伴う課題について理解することができる。 ③ Acute Stage にあるがんサバイバーとその家族の特徴的な課題への看護支援について考案することができる。
<p>3. がんサバイバー 看護実践論</p> <p>1 単位 15 時間</p>	<p>Acute Stage(診断から初回治療が行われる時期)にあるがんサバイバーは、集学的治療を受けながら、治療に伴う有害事象への対処や生活機能の維持、社会生活の継続など多面的な課題に直面する。本科目では、治療期にあるがんサバイバーへの看護実践について、治療選択における意思決定支援、治療に伴う有害事象マネジメント、生活機能の維持と回復支援、外来治療におけるセルフマネジメント支援などの視点から学修する。さらに、妊孕性温存、高齢がん患者の認知機能など治療期に特徴的な課題への看護実践について理解し、高度実践看護師および認定看護師としての看護実践能力の向上を目指す。</p> <p>〈達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Acute Stage にあるがんサバイバーへの看護実践の特徴について理解することができる。 ② 治療に伴う有害事象マネジメントについて理解することができる。 ③ 生活機能の維持および回復に向けた看護支援について理解することができる。 ④ 外来治療におけるセルフマネジメント支援について理解することができる。 ⑤ 治療期にあるがんサバイバーへの看護実践について考案することができる。
<p>4. がんサバイバー 看護展開論</p> <p>1 単位 15 時間</p>	<p>科目 1～3 の学習を踏まえて、本科目では、受講生が臨床において困難を感じた事例を取り上げ、既習の知識や理論を活用しながら看護実践やケア調整について検討する。さらに、多職種協働による支援や外来・地域との連携について検討し、Acute Stage にあるがんサバイバーへの高度な看護実践の展開について理解を深める。</p> <p>〈達成目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Acute Stage にあるがんサバイバーが直面する複合的な課題に対する看護援助を考案することができる。 ② 治療期にあるがんサバイバーへの多職種協働による支援について考案することができる。 ③ Acute Stage にあるがんサバイバーの療養生活の質の向上を目指した看護について説明できる。

日程表

日程	時間	講義内容	講師
9月19日 (土)	12:30- 14:00	オリエンテーション 1. APN コースオリエンテーション 2. Acute Stage にあるがんサバイバー	青木早苗(高知県立大学 看護学部 教授)
	14:10- 15:40	1. がんサバイバー診断治療学 がん医療の最前線 1) Precision Medicine 時代のがん医療 —がんゲノム医療と個別化治療の展望—	1) 土井俊彦(国立がん研究センター東病院 病院長)
	15:50- 17:20	2) がん治療を支える支持療法 支持療法の進歩 —治療期の症状マネジメント—	2) 村上あきつ(香川大学医学部附属病院がんセンター 助教)
9月20日 (日)	9:00- 10:30	3) 集学的治療の理解 集学的治療における放射線治療の役割 —局所制御と全身治療の統合—	3) 中村聡明(関西医科大学 放射線治療科 教授)
	10:40- 12:10	4) Precision Oncology 時代のがん薬物療法 がん薬物療法の現在 —分子標的治療と免疫療法の臨床—	4) 小山隆文(国立がん研究センター中央病院 先端医療科 医長)
	13:00- 14:30	5) がん診断と治療選択 がん診断から治療開始までのプロセス —病期分類と治療選択—	5) 瀬尾智(高知大学医学部 外科学講座外科 消化器外科学 教授)
	14:40- 16:10	6) がん治療に伴う緊急病態 —Oncologic Emergency の早期発見と対応—	6) 佐竹悠良(高知大学医学部腫瘍内科学講座 教授)
10月3日 (土)	13:00- 14:30	2. がんサバイバー看護基盤論 Acute Stage にあるがんサバイバーの看護実践に有用な概念や理論 1) 病いの経験と患者理解 —illness experience の視点—	1) 佐久間博子(関西医科大学 附属病院 がん看護専門看護師)
	14:40- 16:10	2) 診断期の患者体験 診断期における心理的危機 —がん診断がもたらす衝撃—	2) 馬場華奈己(大阪公立大学医学部附属病院 精神看護専門看護師)
	16:20- 17:50	3) 病いの不確かさ 不確かさの理解	3) 田代真理(帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科 准教授)
10月4日 (日)	9:00- 10:30	4) 意味づけと自己の再構築 —meaning making の視点—	4) 高山良子(高知県立大学 看護学部 特任准教授)
	10:40- 12:10	5) がん治療期における意思決定支援 治療選択と意思決定支援	5) 川崎優子(兵庫県立大学 看護学部 教授)
	13:00- 14:30	6) 治療期におけるセルフマネジメント支援	6) 井沢知子(京都大学 大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻先端中核看護科学講座 准教授)
	14:40- 16:10	7) 家族支援と社会的支援	7) 星川理恵(高知大学医学部附属病院 家族支援専門看護師)

日程	時間	講義内容	講師
11月14日 (土)	13:00- 14:30	3. がんサバイバー看護実践論 Acute Stageにあるがんサバイバーの看護実践 1) 生活機能の維持と回復支援 治療期のリハビリテーション —生活活動の維持と早期回復—	1) 福島卓矢 (関西医科大学リ ハビリテーション学部 助教)
	14:40- 16:10	2) 外来治療におけるセルフマネジメント支援	2) 島山明子 (独立行政法人地域医 療機構 大阪府院 がん看 護専門看護師)
	16:20- 17:50	3) 集学的治療に伴う有害事象マネジメント (1) がん薬物療法を受けるサバイバーへの看護 —薬物有害事象の早期発見とマネジメント—	3)-(1) 浅野耕太 (京都第二赤十字病院 がん看護専門看護師)
11月15日 (日)	9:00- 10:30	(2) 放射線療法を受けるサバイバーへの看護 —放射線療法に伴う有害事象マネジメント—	3)-(2) 藤本美生 (兵庫県立がんセンター がん看護専門看護師)
	10:40- 12:10	4) 治療選択における看護実践 —Shared Decision Making の実践—	4) 弘末美佐 (高知大学医学部附属 病院 がん看護専門看護師)
	13:00- 14:30	5) 妊孕性温存に関する看護実践	5) 高橋佳子 (国立がん研究 センター中央病院 遺伝看護 専門看護師)
	14:40- 16:10	6) 高齢がんサバイバーへの看護支援 —フレイルと治療関連認知機能変化—	6) 高尾鮎美 (大阪府立大学 看護学部 講師)
12月5日 (土)	13:00- 17:50	4. がんサバイバー看護展開論 ・受講生が困難を感じた事例について、既習の知識や 理論を活用した看護実践や体制づくりについて考える ・グループワーク	青木早苗 (高知県立大学 看護学 部 教授) 高山良子 (高知県立大学 看 護学部 特任准教授) 廣瀬未央 (高知県立大学 が ん看護専門看護師)
12月6日 (日)	9:00- 14:30	・事例の看護展開 ・全体の共有 ・まとめ	青木早苗 (高知県立大学 看 護学部 教授) 高山良子 (高知県立大学 看 護学部 特任准教授) 廣瀬未央 (高知県立大学 が ん看護専門看護師)
	14:40- 16:10	修了式, アンケート	青木早苗 (高知県立大学 看 護学部 教授)

9. 修了要件

- ・コースで定める 60 時間の 8 割以上履修すること。
修了要件を満たした者には、高知県立大学からの「コースを修了したことの証書」を交付します。

10. 受講申請に関すること

1) 受講条件

- ・全コース(4科目 60時間)受講できる方

2) 募集スケジュール

- ・2026年6月22日(月)～ 募集開始 受講申請書(所定様式)の提出
2026年7月24日(金) 募集締め切り
- ・2026年9月19日(土) 開講日

3) 申請手続

(1) 提出書類

- ・受講申請書(項目は募集要項の最後のページをご参照ください)

(2) 提出方法

- ・二次元バーコード, または下記の URL からお申込みください。
<https://forms.office.com/r/9XQ1ieYs5q>



11. 個人情報の取り扱い

- ・提出された申請書等に記載された個人情報は、責任を持って管理します。

12. 参加にあたっての連絡・注意事項

【Zoom 開催について】

- ・Zoom を利用してのオンライン講義となります。配信は当日のみです。
(本コース各講義の URL, ミーティング ID やパスコードを無断転載・共有はご遠慮下さい。)
- ・ご講義受講前に, Zoom アプリが最新版に更新されているかご確認ください。
- ・パソコン・タブレット・スマートフォンいずれからでも受講いただけますが, 映像・画像・音声の大量データ通信となり通信が途絶える場合があるため安定したインターネット環境下での受講をおすすめいたします。
- ・Zoom での講義は, 通信時間 1 時間でデータ通信消費量は約 600~700MB と見込まれます。Zoom の利用料金は無料ですが, 参加に要する機器・通信料等は, 参加者各自のご負担となります。
- ・本コースの各講義における, 機器や通信の不具合, 受講できない場合等につきましては, 一切責任を負いかねます。Zoom に関しては, 下記の URL をご参照ください。

Zoom ホームページ <https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

Zoom ヘルプセンター <https://support.zoom.us/hc/ja>

【本コースの注意事項について】

- ・本コースでは, 肖像権, 知的財産権, 個人情報保護等を遵守する観点から, 録画・録音・画像保存等をご遠慮ください。
- ・詳細は, 参加申込み後, 受講決定通知とともにお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

高知県立大学看護学部 青木 早苗

〒781-8515 高知県高知市池 2751-1

E-mail: ganapn23@cc.u-kochi.ac.jp

